

第 24 期 自然史・古生物学分科会（第 2 回）議事録

日時：平成 30 年 9 月 4 日（火）13：30-15：30

場所：日本学会議 5 階 5 - A(1)

出席者：松浦啓一、西田治文、真鍋真、白山義久、北里洋、岸本建雄、窪川かおる、堀利栄（Skype）、大路樹生（Skype）

欠席者：武田洋幸、西弘嗣、西田睦、鷺谷いづみ

議題：

1．大学の学術標本・資料について（資料 1，2，3）

松浦委員長より学術標本現状調査実施の背景について説明があった。堀委員より同調査の協力依頼を標本保管の実績のある大学を対象として開始するとの報告があった（資料 1，2，3）。回答の解析および意見の発出の草稿を順次進めていくことが確認された。

2．国立自然史博物館の提言のフォローアップについて（資料 4）

岸本委員より国立沖縄自然史博物館設立に関して次のように現状報告があった。2019 年 1 月に那覇で自然史・古生物学分科会・動物科学分科会が主催するシンポジウムを予定している。7 月 23 日に東京でシンポジウム「日本で初めての国立自然史博物館を沖縄に！」（主催：国立沖縄自然史博物館設立準備委員会・沖縄県・国立研究開発法人海洋研究開発機構・笹川平和財団海洋政策研究所）を開催した。8 月に沖縄県から「国立自然史博物館誘致基礎調査」に係る企画提案募集がなされた。委託業務実施期間は契約日から平成 31 年 3 月 29 日までである。その他周辺の状況についても報告された。

3．その他

・国際化石の日が 10 月第 2 週末と制定されたことを受け、日本は今年から 10 月 15 日を化石の日とし、集会等のさまざまな企画が計画されていることが報告された。

・ブラジル国立博物館の火災を受け、日本でも緊急課題であることが議論された。

・第 34 回国際生物学賞は古生物学が対象で、アンドリュー・ハーバート・ノール氏が受賞された。11 月 19 日授与式、21、22 日に名古屋でシンポジウムが開催されることが大路委員より報告された。

以上